

2004年6月4日  
独立行政法人情報処理推進機構

## 第2回北東アジアOSS推進フォーラムの開催について

2004年4月3日、中国・北京市で、日本・中国・韓国のIT産業界・政府機関等の関係者が参集し、「第1回北東アジアOSS推進フォーラム」が開催されました。

その第2回会合を、日本OSS推進フォーラム（別紙参照）と独立行政法人情報処理推進機構（IPA: Information-technology Promotion Agency, Japan、理事長：藤原 武平太）が主催し、下記のとおり開催いたします。

1. 開催日：2004年7月28日（水）
2. 場 所：北海道札幌市
3. 内 容：OSSの発展のため、以下の事項について情報交換と意見交換を行う。
  - （1）参加各国でのOSSへの取り組み状況
  - （2）日本・中国・韓国が協力して取り組むべきこと
4. 参加予定者：
  - 経済産業省・総務省、中国信息産業部、韓国情報通信部、
  - 日本OSS推進フォーラム、韓国OSS推進フォーラム、
  - 日本・中国・韓国の民間企業・諸団体など

### ■独立行政法人情報処理推進機構（IPA）とは

独立行政法人情報処理推進機構は「情報処理の促進に関する法律」（昭和45年5月22日法律第90号）に基づいて、2004年1月5日に改組された政府関係機関（独立行政法人）です。情報処理の高度化を推進するため、プログラムの開発及び利用の促進、情報処理サービス業等に対する助成、情報セキュリティ対策、人材育成等の事業を実施しています。

#### ◆ 北東アジアOSS推進フォーラムに関するお問い合わせ先

独立行政法人 情報処理推進機構

基盤ソフトウェア開発部 佐伯・石毛・市橋（フォーラム関係）

TEL: 03-5978-7507（直通） FAX: 03-5978-7517

戦略企画部広報グループ 高瀬・横山（報道関係）

TEL: 03-5978-7503（直通） Fax: 03-5978-7510 E-mail: pr@ipa.go.jp

## 日本OSS推進フォーラムについて

### 1. 目的

Linuxを始めとするオープン・ソース・ソフトウェア(OSS)については、企業・大学等の情報システムへの導入や組込みシステムでの活用が進展しつつあるが、ユーザーが安心して利用するための技術上・制度上の課題も指摘されている。

本フォーラムでは、我が国の情報システムのユーザー、ベンダー、学識経験者の有識者が参集し、OSSの活用上の課題について、自由な立場で議論し、課題解決に向けての取組を行っていく。

### 2. 体制

#### 代表幹事

桑原 洋 株式会社日立製作所 取締役／前総合科学技術会議議員

#### 幹事団

青木 利晴	株式会社NTTデータ 取締役相談役
秋草 直之	富士通株式会社 代表取締役会長
大歳 卓麻	日本アイ・ビー・エム株式会社 代表取締役社長
金杉 明信	日本電気株式会社 代表取締役社長
河野 俊二	社団法人日本情報システム・ユーザー協会 会長 (東京海上火災保険株式会社 相談役)
佐藤 雄二郎	株式会社アルゴ21 代表取締役会長兼社長

#### アドバイザー・ボディ（顧問団）

石黒 正大	東京ガス株式会社 副社長 執行役員
太田 清史	株式会社 野村総合研究所 取締役副会長
川上 哲郎	住友電気工業株式会社 相談役
櫛木 好明	松下電器産業株式会社 常務取締役
國井 利泰	金沢工業大学 教授
郡山 龍	株式会社アプリックス 代表取締役会長
棚橋 康郎	新日鉄ソリューションズ株式会社 代表取締役会長
徳田 英幸	慶応大学環境情報学部 教授
所 眞理雄	ソニー株式会社 業務執行役員上席常務
長野 宏宣	エヌ・ティ・ティ・コムウェア株式会社 取締役
保科 剛	日本ユニシス株式会社 CTO
丸森 隆吾	株式会社SRA 代表取締役会長

(順不同)

### 3. 事務局

独立行政法人情報処理推進機構（IPA）

### 4. 活動内容

定期的に（年1～2回程度）幹事団が中心となって、顧問団のメンバーとともに「日本OSS推進フォーラム」を開催する。同フォーラムでは、我が国でOSSを有効な選択肢として活用していくために必要な技術的課題、制度的課題について自由な意見交換を行う。

同フォーラムでの議論を踏まえて、ワーキング・グループ（デスクトップ、開発基盤、ビジネス推進、サポートインフラなど）を設置し、ベンダー、開発者、ディストリビュータ、コミュニティ関係者などの幅広い参加を得て、具体的な課題についての取組を行う。